

翻訳者68人が選んだ!

はじめての海外文学 vol.1

児童書



そして、ぼくの旅はつづく

サイモン・フレンチ 作／野の水生 訳

福音館書店 1,500円+税

アリにはヴァイオリンの才能があります。手ほどきしてくれたオーパ（おじいさん）はだれよりも大切な存在。でも、母さんとの二人旅がきっかけで、生まれ育ったドイツを離れ、オーストラリアで暮らすことに……。旅が好きな人、音楽が好きな人、大切な人と離れてしまった人におすすめ。もちろん、そうでない人にも。すてきなカフェも出てきます。

赤塚きょう子（あかつか きょうこ）イタリア児童文学翻訳家

モルモット・オルガの物語

マイケル・ボンド 作／おおつかのりこ 訳／いたやさとし 絵

PHP研究所 1,300円+税

オルガは夢見がちな女の子のモルモット。活動場所は、小屋としばふのうえにおかれた金網囲いだけですが、想像力ゆたかなオルガの頭のなかには無限の世界がひろがっています。作者マイケル・ボンドさんの家にはクマのぬいぐるみだけでなく、モルモットもいて、走りまわっていました。そのモルモットをモデルにした物語です。

おおつかのりこ 子どもの本の翻訳者

テディが宝石を見つけるまで

バトリン・マクラクラン 著／こだまともこ 訳

あすなろ書房 1,200円+税

悲しみをかかえていた犬のテディは、吹雪のなかでふたりの幼い子どもを助けます。子どもたちに寄り添い心を通わせあって過ごした日々あとに、テディが見つけた宝石とは――？ 詩人の犬テディの「琴線にふれる」言葉がちりばめられた、やさしくて切なくて美しい物語。お話そのものが宝石のような1冊です。

児玉敦子（こだまあつこ）翻訳家

ピトゥスの動物園

サバステア・スリバス 作／宇野和美 訳

あすなろ書房 1,300円+税

病気の友達ピトゥスを外国のお医者さんにみてもらうお金を集めるために、仲間たちが思いついたのは「動物園」を作ること。でも、どこに作るの？ 動物は？ おりは？ どうやって作りあげたかは読んでのお楽しみ。きみもピトゥスの仲間になろう！ カタルーニャの人びとに 50 年以上愛されてきたロングセラー。

宇野和美（うの かずみ）スペイン語翻訳者

かわいいゴキブリのおんなの子 メイベルとゆめのケーキ

ケイティ・スペック 作／おびかゆうこ 訳／大野八生 画

福音館書店 1,500円+税

まさかゴキブリが主人公の本を夢中で読みたいくなるなんて、ありえないと最初は思っていたのです。でも気づいたときには、メイベルちゃんの可愛さと健気さに心をぎゅぐゅとつかまえていました。「相手の立場に立つ」ことの大切さも身にしみえます。挿絵もたっぷり楽しめて、読後は虫ざらいを克服できるかも!?

おびかゆうこ 子どもの本の翻訳者

チキチキバンバン 1

イアン・フレミング 作／ジョン・バーニンガム 絵／こだまともこ 訳

あすなろ書房 1,200円+税

イアン・フレミングがひとり息子のために書いた、唯一の児童書。歌や映画でおなじみの空を飛ぶ車の物語ですが、原作の方が百倍も面白いし、ジョン・バーニンガムの絵が、これまた素晴らしい。元祖チキチキバンバンのこぼれ話や、おいしそうなごちそうの数々（ファッツのレンピつき）など、車好きでグルメだった作者が、楽しい歌でもうたいながら書いたのかも。

こだまともこ 翻訳家

メリーメリー おとまりにでかける

ジョン・G・ロビンソン 作・絵／小宮由 訳

岩波書店 1,300円+税

5 人兄妹のユーモアあふれる楽しい児童文学です。そもそもユーモアとは、他人を傷つけることなく、人の心を和ませるおかしみのごとで、そのセンスは、相手と自分を対等にできる人にしか持ってません。子ども時代に、この本から上質なユーモアをたくさん享受し、思いやりのある大人になって欲しいと願っています。

小宮由（こみや ゆう）翻訳家

大きなたまご

オリバー・バターワース 作／松岡享子 訳

岩波書店 720円+税

12 歳のネイトの家のめんどりが産んだ大きなたまご。六週間後に出てきたのは本物のトリケラトプスだった！ 小さな町にたちまち起こる大騒動はやがてアメリカ全土に広がります。ネイトくんと愛すべき恐竜にだれもが声援を送りたくなる物語を、ちょっと昔のアメリカの雰囲気たっぷりに挿絵とともに楽しんでください。

白石朗（しろいし ろう）英米小説翻訳家

サキ 森の少年

サキ 著／千葉茂樹 訳

理論社 1,100円+税

サキという作家を知っていますか？ 名前は日本の女性っぽいですが、イギリスの男性で、オー・ヘンリーと同じころに活躍した短編の名手です。しかし、おいしいことに、日本ではそこまで知られていません。この本は、子どもや動物が出てくる話をよりすぐったサキの短編集です。ぞくつとする恐怖とひやりとしたユーモアをどうぞ。

田中亚希子（たなか あきこ）英米児童文学翻訳家

熊とにんげん

ライナー・チムニク 作・絵／上田真而子 訳

徳間書店 1400円+税

心根がよくて、七つのまりでお手玉ができる熊おじさんには、友だちがふたりいた。おどりをおどる熊と、そして神さまと。熊とおじさんは、芸をひろうしながらわずかなお金をかせいで、村から村へと旅をしまわる……。それだけのお話でもあるし、もっと大きなことがかかっているお話でもあります。季節のめぐり、人間のやさしさとおろかしさ、人と動物と自然のつながり。何度でも読みかえしたくなる本です。

ないとうふみこ 児童文芸翻訳家

ふたりのロッセ

エーリヒ・ケストナー 作／池田香代子 訳

岩波書店 660円+税

夏休みに出会ったルイーゼとロッセは、誰もが驚くほどうりふたつ。他人のそら似かと思ったら、別々に育てられたふたごだとわかります。やがて二人は、秘密の入れ替わり作戦を開始。両親の都合で翻弄された子ども達が、今度は大人をてんでご舞いさせ、最後はハッピーエンド。映画にもアニメにもお芝居にもなりました。親世代も一読を。

佐藤見果夢（さとう みかむ）英米児童文学、絵本翻訳家

闇のダイヤモンド

キャロライン・B・クーニー 作／武富博子 訳

評論社 1,600円+税

アメリカの十代の兄妹が両親と暮らす家に、アフリカの内戦から逃れてきた難民の四人家族がホームステイすることに。ところが、この難民たちには、怖ろしい秘密があったのです。ドキドキするサスペンスでありながら、文化や立場の違いを超えた人と人とのつながりに心を動かされる、忘れられない一冊になることでしょう。

武富博子（たけとみ ひろこ）英米児童文学翻訳者

名探偵ホームズ 踊る人形

コナン・ドイル 著／千葉茂樹 訳

理論社 1300円+税

いわずとしれたホームズものですが、名探偵コナンは読んでいても、実は本家は……という方もいるのでは？ 本書が初ホームズ体験になるのなら、訳者として、これほどうれしいことはありません。ドイル本人がベスト1にあげた「まだらの紐」をはじめ、めったに収録されない外典の「ワトソンの推理修行」も!

千葉茂樹（ちば しげき）英米文学翻訳家（おもに児童書）

のんきなりゅう

ケネス・グレアム 作／インガム・ア 絵／中川千尋 訳

徳間書店 1,800円+税

竜退治のプロ 聖ジョージと、闘いたくないのんきな竜。二人は建設的で平和的なウィンウィン関係をめざしてインチキ試合を企てます。全見開きカラー挿絵付で読書ハードルを下げつつも、文章の香気とユーモア、風刺のレベルは下げておりません。演技する竜くんがかっこいいので小学校中学年男子に人気。もちろん大人にもおすすめです。

なかがわちひろ 児童書・絵本の翻訳者

児童書

児童書

100 時間の夜

アンナ・ウォルツ 作／野坂悦子 訳

フレーベル館 1,450円+税

父親がスキャンダルを起こしたせいで、14歳のエミリアは単身アムステルダムからニューヨークへと逃れる。そこで待っていたのはハリケーンと大停電。電気も水道もネットも使えない。今、注目を集めているオランダの新進気鋭作家の渾身の一作。ニューヨークをより知ることができることも、本作の隠れた魅力。

長友恵子（ながとも けいこ） 子どもの本の翻訳者

ピアノ調律師

M・B・ゴフスタイン 作・絵／末盛千枝子 訳

現代企画室 1,800円+税

ピアノ調律師のワインストックさんは、やんちゃな孫娘のデビーとふたりで暮らしています。ピアニストではなくて調律師になりたいと強く願うデビーに、おしいちゃんは渋い顔。でも親友のピアニスト、リップマンさんの一言でワインストックさんは何より大事なことに気づくのです。将来に悩む人にも、新しくやり直したい人にもお薦めの一冊です。

野坂悦子（のさか えつこ） オランダ語や英語の翻訳家

リンドグリーン・コレクション 『長くつ下のピッピ』

アストリッド・リンドグリーン 作／イングリッド・ヴァン・ニイマン 絵／菱木晃子 訳

岩波書店 1,650円+税

2018年、日本・スウェーデン外交関係樹立150周年の記念すべき年に、原書と同じニイマンの挿絵でお届けする世界一強い女の子ピッピの物語。新装版シリーズ「リンドグリーン・コレクション」の第一弾。リンドグリーン作品は、永久に不滅です！

菱木晃子（ひしき あきらこ）
北欧文学・絵本翻訳家

なんでもただ会社

ニコラ・ド・イルシング 作／末松水海子 訳／三原紫野 絵

日本標準 1,300円+税

電話一本で何でもただで届けてくれる会社、そんなうまい話はありませんよね。1992年に刊行され2008年に復刻された児童書ですが、電話のこわさは今の時代にも通じるものがあります。フランス語の言葉遊びをうまく日本語に置き換えた訳もみごとです。

矢沢聖子（やざわ せいこ） 英米文学翻訳家

ノラのボクが、家ネコになるまで

ヤスミン・スロヴェック 作／横山和江 訳

文研出版 1,200円+税

気ままなノラネコ暮らしを気に入っていたボクが、ひよんなことから家にはいりこみ女の子と出会う……。『必殺ウルウルおめめ』を武器にヒトを虜にするようすがたまらなくかわいいです。絵と吹き出しがたっぷりで読みやすく、小さいお子さんから楽しめます。続編『家ネコのボクが、にんきものになるまで』もあります！

横山和江（よこやま かずえ） 児童書・絵本翻訳家

オズの魔法使いシリーズ1 完訳 オズの魔法使い

ライマン・フランク・ボーム 著／宮坂宏美 訳

復刊ドットコム 1,800円+税

オズの物語の最大の魅力は、底抜けに明るいとこ！ 翻訳作業がちょうど震災の時期と重なってしまったのですが、この本の明るさに救われて訳し通すことができました。示唆に富んでいて、心に響く名言もたっぷり。続編もめっちゃめっちゃおもしろいので、シリーズでぜひ！

宮坂宏美（みやさか ひろみ） 英米文学翻訳家

でんすけぬりえ すきな色でぬってみよう！



はじめての海外文学フェア vol.4

「はじめての海外文学」フェアは、日本じゅうの書店店舗が協力し、お薦めの海外作品をいっせいに売っていく壮大な試みです。2018年も11月から第4回フェアが各書店で展開されます。今回も大人向け、子供向けの両部門で開催され、選書メンバーの翻訳者は、合わせて68名。どうぞ素敵な本との出会いがありますように。



児童書

twitter



@kaigaibungaku

公式サイト



https://hajimetenokaigaibungaku.jimdo.com

はじめての海外文学 公式サイト

はじめての海外文学フェアと関連イベントの情報はもちろん、日本で一番(?)充実した海外文学・翻訳書イベント情報を日々更新するサイト。のぞいてみてね。

